

**CONNECT 4G SERIES**

**4G ソーラーカメラ**

**IP-D8044G-SB**

**取付ガイドマニュアル**



---

# 目次

安全上の注意 .....	3
カメラの設置 .....	5
1. カメラの固定 .....	5
2. 電源コードの防水処理 .....	6
3. 防滴コネクタの取り付け ( 屋外 ).....	7
4. レンズ角度の調整 .....	8
5. ソーラーパネルの角度調整 .....	8

---

---

# 安全上の注意

本項では、機器の正しい取付方法、危険の防止に関する内容を説明します。  
ご使用前に必ずよくお読みいただき、使用時は本ガイドラインに従ってください。

## 1. 保管時の注意



- 仕様書に記載されている、許容される湿度・温度条件の範囲内で機器を保管してください。
- 湿気やほこりの多い場所、極端に高温または低温の場所、強い電磁放射がある場所、照明が不安定な場所には保管しないでください。
- 保管中は、機器に強い荷重をかけたり、激しく振動させたり、液体に浸したりしないでください。

## 2. 設置要件



- 地域の電気安全規程および規格を厳守し、機器を操作する前に電源が正しいことを必ず確認してください。
- 機器への給電は、電氣的要件に従って行ってください。
  - ◇ 電源アダプター選定時の要件は次のとおりです。
    - 電源は、IEC 60950-1 および IEC 62368-1 規格の要求事項に適合している必要があります。
    - 電圧は SELV（安全超低電圧）の要件を満たし、ES-1 規格を超えないことが必要です。
    - 電源は LPS 要件を満たし、PS2 を超えないこと。
  - ◇ 電源アダプターを選定する際の電源要件（定格電圧など）は本体ラベル・仕様書の記載に従ってください。
- 設置作業中は、機器に過度な荷重をかけたり、強い振動を与えたり、液体に浸したりしないでください。
- 設置および配線時には、緊急時に電源を遮断できるよう、手の届きやすい場所に、非常用遮断装置を設置してください。
- 落雷からより確実に保護するため、避雷（雷保護）装置と併用することを推奨します。屋外で使用する場合は、避雷に関する規定を厳守してください。
- 安全性向上のため、機器の接地端子は確実にアース接続してください。接地端子の位置や有無は機種によって異なり、接地端子がない機種もあります。機種に応じて適切に対応してください。
- 端末のネゴシエーションに影響する電気信号干渉を避けるため、スイッチや NVR と共通接地となる環境には設置しないでください。共通接地が避けられない場合は、拡張アンカーなどを用い、絶縁材で機器を共通接地から分離してください。

---

### 3. 操作上の注意事項



- 電源が入っている間は、カバーを開けないでください。
- やけどの恐れがあるため、本体の放熱部品には触れないでください。
- 仕様書に記載されている、許容されている温度・湿度の範囲内で使用してください。
- 外観と機能を保つため、海辺や化学工場など、腐食性物質（塩化物、SO<sub>2</sub> など）が高濃度に含まれる過酷な環境では使用しないでください。
- ピント合わせの際、強い光源（照明や太陽光など）に向けしないでください。CMOS センサーの寿命低下、白飛び・ちらつきの原因になります。
- レーザー機器を使用する場合は、レーザー光が本体表面に照射されないようにしてください。
- 液体が装置内に入り込まないようにしてください。内部部品の故障につながるおそれがあります。
- ケーブルの接続部は雨や湿気から保護してください。感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 装置付近の通気口をふさがないようにください。熱がこもる原因になります。
- 電源コードや配線が踏まれたり挟まれたりしないよう保護してください。特にプラグ、コンセント、装置からの引き出し部に注意してください。
- 感光部 CMOS には直接触れないでください。レンズのほこりや汚れはエアブローで取り除いてください。

### 4. 保守・メンテナンス要件



- 機器を分解する際は、手順書の指示に必ず従ってください。専門知識のない方が分解すると、水漏れや画質低下の原因になります。使用前に分解が必要な機器の場合、カバーを戻すときにシールリングが平らになっており、シール溝に正しく収まっていることを確認してください。
- 感光部 CMOS には直接触れないでください。レンズのほこりや汚れは、ブローで吹き飛ばして取り除いてください。機器の清掃が必要な場合は、柔らかい布をアルコールで軽く湿らせ、汚れをやさしく拭き取ってください。
- 本体は柔らかい乾いた布で清掃してください。落ちにくい汚れがある場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取り、その後、表面の水分を拭き取って乾かしてください。コーティングの損傷や性能低下を防ぐため、エチルアルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性溶剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。

# ・カメラの設置

## 1 カメラの取り付け



取付面が、カメラとブラケットの合計重量の少なくとも3倍に耐えられる十分な強度があることを確認してください。

図 1-1 側面ケーブルトレイを通るケーブル

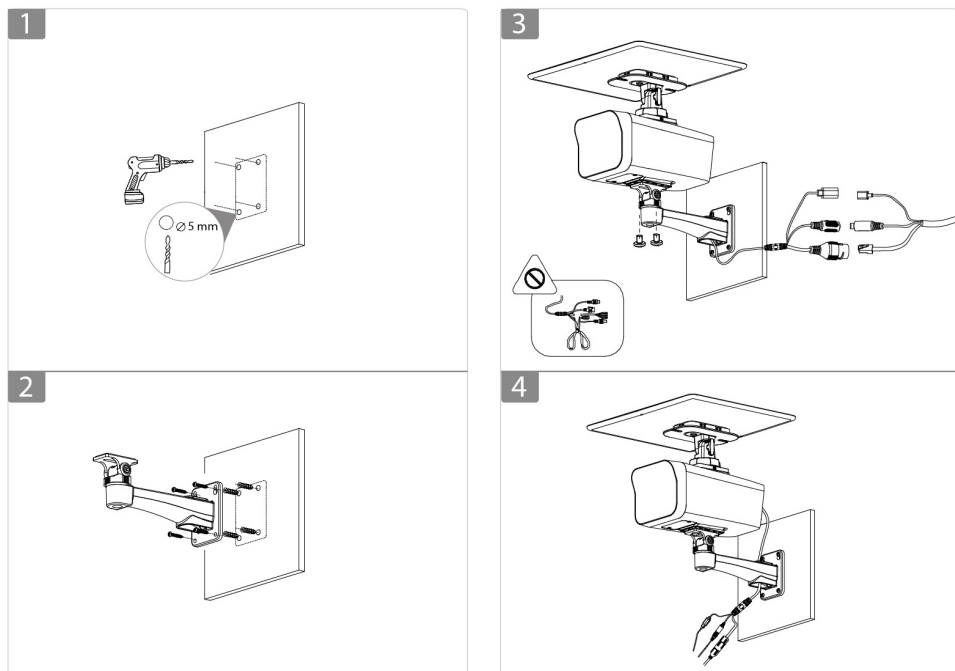
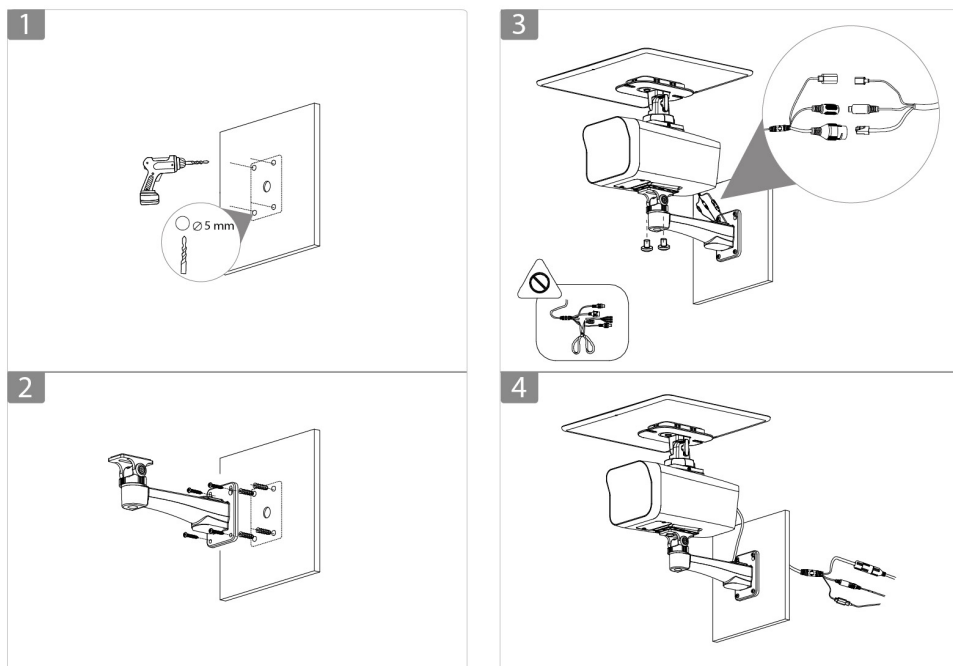


図 1-2 取付面を貫通するケーブル

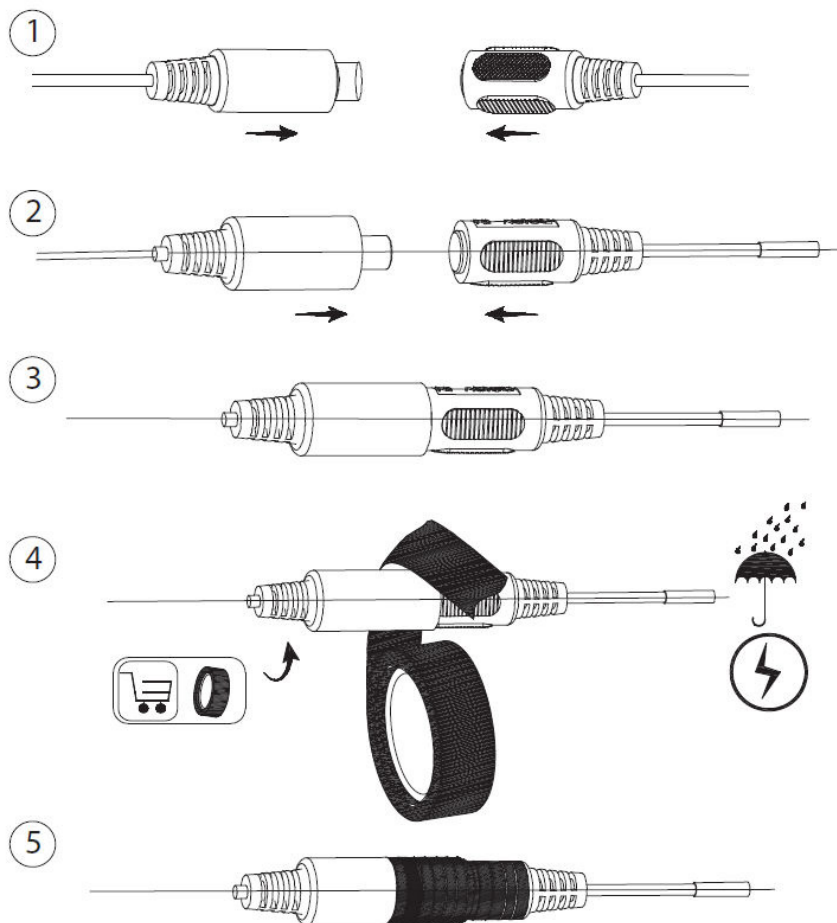


## 2 電源コードの防水処理



浸水による故障やショートを防ぐため、ケーブルの接続部はすべて絶縁テープか防水テープで確実に防水してください。  
※テープは同梱されておりません。

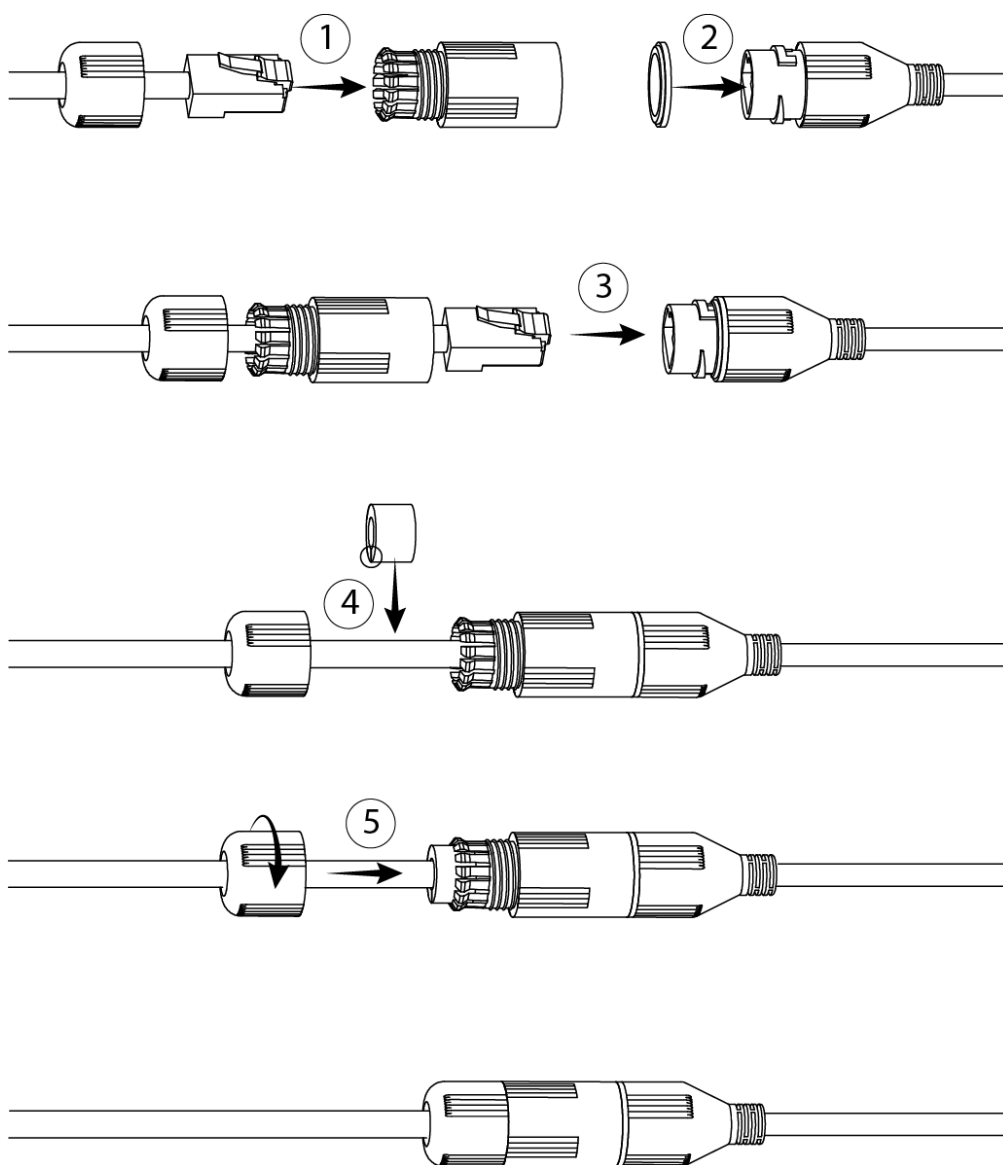
図 2 電源コードの防水処理



### 3 防滴コネクタの取り付け (屋外)

本製品に付属している防滴コネクタは、屋外で使用する際に必要となります。下記の手順に従って取り付けてください。

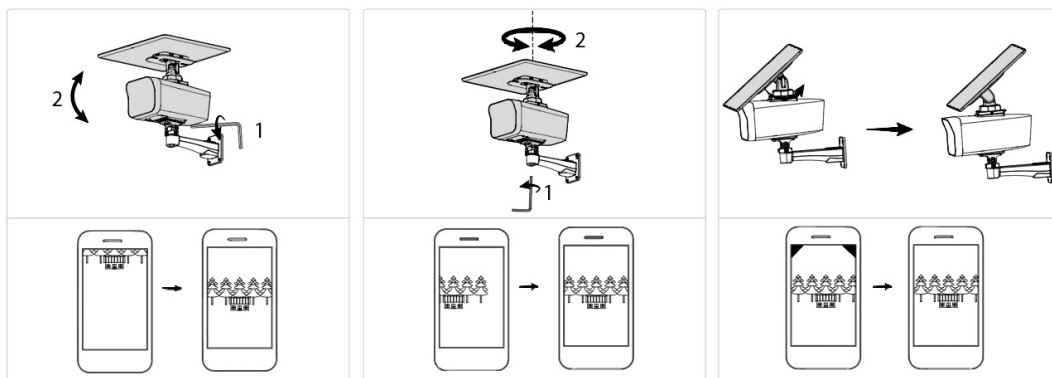
図3 防滴コネクタの取り付け



## 4 レンズ角度の調整

赤外線検知器（PIR）の検知条件を満たすため、設置高さは地面から2～3mを推奨します。水平角度は10°～30°の範囲で調整してください。

図4 レンズの角度を調整する



## 5 ソーラーパネルの調整

ソーラーパネルは、年間を通して日当たりが良く、周囲の遮蔽物が少ない場所に設置してください。また、電磁干渉が少なく、電波状況が良好な環境が適しています。

パネルの向きについて：北半球では機器を真南に、南半球では真北に向けて設置してください。ソーラーパネルの角度を調整する際は、設置場所の緯度に合わせて、ポインターを該当する目盛りに合わせてください。たとえば、現地の緯度が18°の場合は、ポインターを18°の位置に合わせてください。

図5 ソーラーパネルの角度調整

